

リトアニア美術館への文化無償協力

リトアニア美術館は2005年に日本政府からの文化無償協力を受領しました。この協力により、リトアニア美術館付属の国立アートギャラリーは、講義室に会議や文化行事の際に使用する視聴覚機材（268,750ユーロ相当）を設置しました。



映画館としても使えるこの講義室には、日本企業が高度な技術を駆使して製造したオーディオ、ビデオ、プロジェクター、カメラ、マイク、スピーカー等が配置されています。また、受領した機器の技術レベルが高いため、後から新しい機材を導入した際にも、容易に変換することができました。様々な文化行事を企画する技術者によると、この講義室はどのような用途にでも用いる事ができるということです。



受領された機材はどれも丁寧に使われており、機材には「日本の人々より」と書いたステッカーが貼られてあるため、この協力は日本から供与されたものと分かるようになっています。